

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------|--------|--|---|-----------------|--|
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| I-1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | <input type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 平成21年度より地域密着型事業を反映した理念を一部変更している。 | | |
| 2 | 2 | <input type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念の一部変更作業を通し、職員からのアンケートや会議によって実践への意識付けが統一できた。 | | |
| 3 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | 地域の人たちには事業所の理念はまだまだ浸透していないと考える。 | ○ | 地域の広報誌などに積極的に事業所の活動理念等を掲載していく。 |
| 理念と共有 3項目中 1項目 | | | | | |
| I-2. 地域との支え合い | | | | | |
| 4 | | <input type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 外出時には地域の人とのコミュニケーションをとるよう努めている。 | | 地域の方の介護相談には気楽に相談に応じている。平成21年度は5名の方の飛び込み相談があった。 |
| 5 | 3 | <input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会には参加しているが、前年ほどは交流できていない。 | ○ | 今年度は積極的に自治会活動に取り組みたい。 |
| 6 | | <input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 特に取り組めていない。 | | |
| 地域とのつきあい 3項目中 1項目 | | | | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|--------|---|--|-----------------|----------------------------------|
| I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | <input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価・外部評価に取り組むことで、日々の介護の見直しに活用できている。 | | |
| 8 | 5 | <input type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 定期的な情報公開、報告を行うことで、検討しながら委員の意見は反映されている。 | | |
| 9 | 6 | <input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 地域包括支援センターからの相談や、必要に応じて大津市介護保険課の担当者とは情報交換や連携はできている。 | | |
| 10 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 管理者が積極的に成年後見に取り組むNPOや行政書士などと関係を作ることで、活用できる体制を準備している。 | | 職員にも積極的に研修などに参加できるよう研修体制を整えたい。 |
| 11 | | <input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待防止に向けた意識は職員間で徹底されている。 | | |
| 理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 1項目 | | | | | |
| I-4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | <input type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 管理者が窓口となり、十分な説明が行えている。 | | |
| 13 | | <input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 苦情担当者を設け、随時対応している。 | | |
| 14 | 7 | <input type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 面会時の説明や、必要時には電話・文書連絡により随時報告できている。 | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--------|--|--|-----------------|---|
| 15 | 8 | <input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族からの意見は、職員に記録などにより周知することで、反映させている。 | | |
| 16 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 管理者と職員は運営に関する意見交換はできているが、運営者への提案は理解されにくい状況である。 | ○ | 運営者と管理者とのより密な情報交換が必要であり、今後取り組んでいきたい。 |
| 17 | | <input type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 利用者・家族の状況に合わせて、その都度適切に調整できている。 | | |
| 18 | 9 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 離職を抑える努力がなされているかは疑問である。職員の人数が少ないために事業所間の異動が考えられていない。 | ○ | 運営者と管理者とのより密な情報交換が必要であり、今後取り組んでいきたい。 |
| 理念を実践するための体制 7項目中 2項目 | | | | | |
| I-5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | <input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | OJTや外部研修などに積極的に参加できるよう支援している。 | ○ | 今年度の事業所独自の年間研修計画の策定に取り組んでいく。 |
| 20 | 11 | <input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 淡海グループホーム協議会への参加や、各研修への参加にて、各自取り組んでいる。 | | 管理者が協議会の運営役員となり、積極的に交流機会を増やす研修等を企画している。 |
| 21 | | <input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 職員個々でのストレスケアに頼っている現状である。 | | スーパービジョンの導入を検討する。 |
| 22 | | <input type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 新たな取り組みができていない。 | | |
| 人材の育成と支援 4項目中 2項目 | | | | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|--------|---|---|-----------------|----------------------------------|
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | <input type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 職員・管理者は本人の言葉や想いを傾聴し、受容できるよう努めている。 | | |
| 24 | | <input type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 管理者が窓口となり、信頼関係を築くことができている。 | | |
| 25 | | <input type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 職員一丸となり、初期アセスメントに応じたサービスに結び付けている。 | | |
| 26 | 12 | <input type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 短期入所の利用や、「お試し利用」を活用し、少しずつ馴染める環境作りができている。 | | |
| 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 0項目 | | | | | |
| II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | <input type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 家事作業やレクリエーション等、共に行うことで、支援関係を築いている。 | | |
| 28 | | <input type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 特に認知症末期のターミナル対応に関しては、実践を積んできている。 | | |
| 29 | | <input type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 今までの本人、家族の関係を大切にしながら、イベントなどで共に過ごしてもらえよう努めている。 | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|--------|---|---|-----------------|----------------------------------|
| 30 | | <input type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている | 入居前からの本人の知人などにも、面会 してもらえる環境づくりを行っている。 | | |
| 31 | | <input type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている | 常に利用者同士の関係には注意をはら い、お互いに支え合える関係はできてい る。 | | |
| 32 | | <input type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | サービス利用後も、面会や運営推進会議 の委員などで関わりは継続できている。 | | |
| 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 0項目 | | | | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--------|---|---|-----------------|--|
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| Ⅲ-1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | <input type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者個々の生活ニーズを検討することで、本人本位の介護に取り組んでいる。 | | |
| 34 | | <input type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 家族からの生活歴や習慣を収集しながら、職員全員が把握に努めている。 | | |
| 35 | | <input type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 日々の状態を介護記録表に記載し、毎週アセスメントすることで、タイムリーに現状把握できている。 | | |
| 一人ひとりの把握 3項目中 0項目 | | | | | |
| Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | <input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 1週間毎のアセスメントを職員内でローテーションで記入し、全員が目を通すことで、適宜意見を反映している。 | | 介護計画実施後の評価と本人・家族の意見をより反映できるよう書式の変更に取り組む。 |
| 37 | 16 | <input type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的な見直し、本人・家族の状況に応じて計画作成に努めている。 | | |
| 38 | | <input type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 情報の共有は十分にできている。 | | |
| 介護計画の作成と見直し 3項目中 1項目 | | | | | |
| Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | <input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 多機能性を活かした支援には結びついていない現状である。 | ○ | 必要な関係者との連携に取り組んでいく。 |
| 多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目 | | | | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------|--------|---|--|-----------------|----------------------------------|
| | | Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 | | <input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 必要な社会・地域資源とは協力できるよう、関係作りに取り組んでいる。 | | |
| 41 | | <input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 必要に応じて、他のサービスに結び付けている。 | | |
| 42 | | <input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 必要な場合は、協働できる体制は整えている。 | | |
| 43 | 18 | <input type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 主治医の定期的な往診など、受診支援は十分に行えている。 | | |
| 44 | | <input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 入居後も利用者の必要性に応じて、専門医への受診支援は継続できている。 | | |
| 45 | | <input type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 看護師との医療連携はできている。かかりつけ医↔看護師↔職員とで連携を図っている。 | | |
| 46 | | <input type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 管理者が窓口となり、病院のMSWなどとの連携を図っている。 | | |
| 47 | 19 | <input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 医療職・介護職が情報を共有することで、終末期への方針は統一できている。 | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|--------|--|---|-----------------|----------------------------------|
| 48 | | <input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 医療職・介護職が情報を共有することで、終末期へのチームケアの支援体制は準備できている。実際に実践を積み重ねている。 | | |
| 49 | | <input type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 住み替え時の情報提供には努めている。 | | |
| 地域資源との協働 10項目中 0項目 | | | | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--------|---|---|-----------------|----------------------------------|
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| IV-1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| IV-1. (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 50 | 20 | <input type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている | 個人情報保護法に基づく情報管理には注意できている。 | | |
| 51 | | <input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 常に利用者中心に支援できている。 | | |
| 52 | 21 | <input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 常に利用者中心に支援できている。 | | |
| その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 0 項目 | | | | | |
| IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | <input type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 利用者の重度化により、外出できない人のために訪問理容を取り入れた。 | | |
| 54 | 22 | <input type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者の「できる力」を大切にして、支援できている。 | | |
| 55 | | <input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 常に利用者本位で支援している。 | | |
| 56 | | <input type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 利用者個々の排泄パターンを把握し、その都度排泄支援している。 | | |
| 57 | 23 | <input type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 職員数によって決めている場合もあるが、可能な限り利用者本位の入浴への誘いを行っている。 | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--------|--|---|-----------------|---------------------------------------|
| 58 | | <input type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 常に利用者本位で支援している。 | | |
| その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 0項目 | | | | | |
| IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | <input type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 家事作業など、本人の「できること」を見つけ支援している。 | | |
| 60 | | <input type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 本人が希望したときは、可能な限り所持し使えるようにしている。 | | |
| 61 | 25 | <input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 利用者の重度化により、外出の希望が聞かれなくなってきている実情である。職員の誘いが少ないことも課題である。 | ○ | 限られたスタッフの中でも、可能な限り外出できる機会を作る工夫が必要である。 |
| 62 | | <input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 全員ではないが、数名の利用者は家族と外出しているが、その機会も減ってきている。外泊はない状況である。 | | |
| 63 | | <input type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 本人の希望により、自由にさせていただいている。 | | |
| 64 | | <input type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 訪問時間に制限は設けておらず、自由に面会してもらえるよう工夫している。 | | |
| その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 1項目 | | | | | |
| IV-1. (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | <input type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束の弊害を職員全員が理解しており、身体拘束はしていない。 | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|--------|---|--|-----------------|----------------------------------|
| 66 | 26 | <input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 実際に日中の玄関に施錠はしていない。夜間は警察の指示で安全のため施錠している。 | | |
| 67 | | <input type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 事故防止への検討を重ねることで、見守りなどの安全には配慮している。 | | |
| 68 | | <input type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 物品の持込に関しては、事故防止のアセスメントを行うことで、可能な限り制限していない。 | | |
| 69 | | <input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 利用者個々の状態を適宜アセスメントすることで、ケアプランに反映させ事故防止に取り組んでいる。 | | |
| 70 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 昨年、定期的な訓練に取り組みたいとしたが、現時点でできていない。 | ○ | 救命救急訓練の実施計画の策定。 |
| 71 | 27 | <input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防による定期的な訓練は実施しているが、地域との具体的な連携は取れていない。 | | |
| 72 | | <input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 契約時、必要時に家族と話し合い対応している。 | | |
| その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 1項目 | | | | | |
| IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | <input type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 個別記録に記入し、職員間で申し送っている。 | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|--------|--|---|-----------------|----------------------------------|
| 74 | | <input type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 職員は各利用者の服薬に関する注意点を理解しており、服薬ミスの無いよう工夫している。 | | |
| 75 | | <input type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 生活リハビリとしての運動や嚥下障害の人にはペースト食の提供など、適宜工夫して対応している。 | | |
| 76 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後はできていない。起床時と就寝時に行っている。 | | 毎食後実施できるよう取り組んでいく。 |
| 77 | 28 | <input type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 管理栄養士による栄養管理はできている。必要時は水分摂取量を記録して、支援している。 | | |
| 78 | | <input type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | マニュアルを基に実施している。 | | |
| 79 | | <input type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 厨房調理員・職員とも衛生管理には気を付けている。 | | |
| その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 1項目 | | | | | |
| IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 80 | | <input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 建物構造上、玄関が分かりにくい欠点はあるが、常に掃除に努め気持ちよく訪問してもらえるよう工夫している。 | | |
| 81 | 29 | <input type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者・家族・職員の意見を取り入れながら、心地いい環境整備に取り組んでいる。 | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--------|---|--|-----------------|----------------------------------|
| 82 | | <input type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 居室や廊下にソファを置くことで、好きなように過ごせる空間作りを工夫している。 | | |
| 83 | 30 | <input type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 本人の使い慣れたものを持ち込んでもらうよう、家族にも協力してもらっている。 | | |
| 84 | | <input type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | こまめな温度調整、換気は行っている。 | | |
| 生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 0項目 | | | | | |
| IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | <input type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 個別の介護計画により、必要に応じて対応できるよう努めている。 | | |
| 86 | | <input type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 個別の介護計画により、必要に応じて対応できるよう努めている。 | | |
| 87 | | <input type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 季節・天候に合わせて、テラスや玄関、庭を活用している。 | | |
| 生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 0項目 | | | | | |

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

| V. サービスの成果に関する項目 | | |
|------------------|--|---|
| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること) |
| | | ↓○印欄 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |
| | 項 目 | 取 り 組 み の 成 果 14 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること) |

| | | ↓○印欄 |
|-----|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日々の個別援助記録と介護計画書を連動させることで、可能なかぎり「利用者本位」の介護を、状況が許すかぎり認知症末期まで提供できるよう努力しています。

評価結果整理表

個別表

□のチェック項目数

I 理念に基づく運営

| | | |
|-----|--|----------|
| －1. | <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有 | 1 項目/3項目 |
| －2. | <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い | 1 項目/3項目 |
| －3. | <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用 | 1 項目/5項目 |
| －4. | <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制 | 2 項目/7項目 |
| －5. | <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援 | 2 項目/4項目 |

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

| | | |
|-----|---|----------|
| －1. | <input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 0 項目/4項目 |
| －2. | <input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 0 項目/6項目 |

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

| | | |
|-----|---|-----------|
| －1. | <input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握 | 0 項目/3項目 |
| －2. | <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 1 項目/3項目 |
| －3. | <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 項目/1項目 |
| －4. | <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 0 項目/10項目 |

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

IV－1. その人らしい暮らしの支援

| | | |
|---------|---|----------|
| －1. (1) | <input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重 | 0 項目/3項目 |
| －1. (2) | <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | 0 項目/6項目 |
| －1. (3) | <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | 1 項目/6項目 |
| －1. (4) | <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援 | 1 項目/8項目 |
| －1. (5) | <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | 1 項目/7項目 |

IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

| | | |
|---------|--|----------|
| －2. (1) | <input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり | 0 項目/5項目 |
| －2. (2) | <input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | 0 項目/3項目 |

総合評価

I 理念に基づく運営 (5項目/5項目)について

地域密着型事業所として、その地域に認められ存在意義のあるグループホームとして、「地域ケア」に関わって行ける事業所運営を目指さなければならない。そのために運営者・管理者・職員間での情報交換が大切であり、その連携を図ることで、利用者・家族・地域への介護支援の充実を向上させていく道筋が必要がある。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目/2項目)について

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (2項目/4項目)について

個別援助記録と連動した介護計画書の作成システムは有効に機能しているが、これにさらに定期的な評価と利用者本人・家族の意向を記載できるよう書式の追加変更を実施していくことにする。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目/7項目)について

「その人らしい生活」のための支援は事業所の理念に則して実行できているが、前年よりの職員不足は改善できていない。この点は運営者の経営方針と管理者の現場からの希望との間に多少の隔たりがあり、この点を十分意見交換することで改善できるよう努めていくこと必要である。

V サービスの成果に関する項目について

今春には開設10周年という、滋賀県でも最古参のグループホームであり、この間に多くの認知症介護の実践を積み重ねてきた。その意味では県内のグループホームのベンチマークとしての存在を意識しながら、今後の「グループホームのあるべき姿」を目指して事業運営していかねばならないと考えている。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 高齢者グループホーム志賀の里(美波)

評価年月日：平成22年 1月 13日

前回評価年月日：平成21年 1月 26日

| サービスの質の向上に向け取り組む課題 | | | 取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで) | 改善に向けた具体的 な行動 | 達成度評価 | 次期 評価 実施 時期 |
|--------------------|----------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------|-------|----------------------|
| 評価項目 番号 | 優先 順位 | 内 容 | | | | |
| 16・18・ 61 | 1 | 職員の必要時の補充 | 平成22年2月 ～23年1月 | 運営者への人事状 況の報告と現状の把握 | | 平成 23年 3月 |
| 3・5 | 2 | 地域への関わりと地域密 着事業所の啓発 | 平成22年2月 ～23年1月 | 地域活動への積極 的参加を図る | | 平成 23年 3月 |
| 36 | 3 | ケアプランへの本人・家族 の意見と評価項目の追加 | 平成22年2月 ～23年1月 | 介護計画書の書式、 一部変更 | | 平成 23年 3月 |
| 19・20 | 4 | 職員の資質向上に向けた 取り組み | 平成22年2月 ～23年1月 | 具体的な職員研修計 画の策定 | | 平成 23年 3月 |
| 39 | 5 | 小規模多機能性を活かした 支援の実践 | 平成22年2月 ～23年1月 | 地域の社会資源との 連携強化 | | 平成 23年 3月 |
| 70 | 6 | 緊急対応への自主訓練 | 平成22年2月 ～23年1月 | 医療職との連携によ る研修の実施 | | 平成 23年 3月 |